



(題字 小澤 浩 学長)

第441号
(平成13年9月号)

9月のトピックス

◇ 8日 夢大学 in TOYAMA 2001 を開催



◇ 9日 附属中学校コーラス部がNHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロック大会に出場



目 次

関 係 法 令	3
学 内 規 則	
◆ 国立大学再編・統合検討委員会要項の制定	3
諸 会 議	4
学 事	
◆ 富山大学運営諮問会議を開催	5
人 事 異 動	6
学 内 諸 報	
◆ 2001年外国人学生のための進学説明会を開催	7
◆ 富山大学入学者選抜試験の可否判定過誤及びその後の対応の誤りに係る全学説明会を開催	8
◆ 夢大学 in TOYAMA 2001 を開催	8
◆ 附属中学校コーラス部がNHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロック大会に出場	11
◆ 平成13年度富山大学総合防災訓練を実施	11
◆ 富山県大学長懇話会を開催	12
◆ 教養教育教員研修会を開催	12
◆ 富山地区国立学校技術職員研修を開催	13
◆ 海外渡航者	13
◆ 訃報	15
主 要 行 事	15

関 係 法 令

(告 示)

- 学校教員統計調査規則の規定に基づき、調査の範囲、調査実施の年度等を定める件（文部科学147）（平成13.9.13官報第3200号）

学 内 規 則

国立大学再編・統合検討委員会要項の制定

国立大学再編・統合検討委員会要項の制定理由

富山県内国立大学3機関の再編・統合を検討するための委員会を設置することに伴い、所要事項を定める。

国立大学再編・統合検討委員会要項を次のとおり制定する。

平成13年9月7日

富山大学長 小 澤 浩

国立大学再編・統合検討委員会要項

(設 置)

第1条 富山大学に、富山県内国立大学3機関の再編・統合を検討するため、国立大学再編・統合検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 学部長
 - (4) 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会要項第2条第2号及び第3号に規定する委員
 - (5) 富山大学の在り方に関する検討特別委員会要項第2条第2号に規定する委員
 - (6) 事務局長
 - (7) その他学長が必要と認めたる者
- (委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指

名した者がその職務を代行する。

(議 事)

第4条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会できない。

- 2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第5条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(部 会)

第6条 委員会に、部会を置く。

- 2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶 務)

第7条 委員会の庶務は、総務部総務課において処理する。

(雑 則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

- 1 この要項は、平成13年9月7日から実施する。
- 2 委員会は、任務を終了した時点で解散する。



学生生活委員会（9月4日）

（審議事項）

- (1) 学寮施設の整備について

国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会

（9月4日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

部局長会議（9月5日）

（審議事項）

- (1) 再編統合について

学長候補者選挙管理委員会（9月10日）

（議 題）

- (1) 委員長の選出について
 (2) 次期学長候補者選考日程等（案）について
 (3) 次期学長候補者選挙の公示（案）について

国立大学再編・統合検討委員会（9月11日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

学長候補者選挙管理委員会（9月11日）

（議 題）

- (1) 次期学長候補者選挙の公示について
 (2) 次期学長候補者選考に係る選挙資格者名簿について
 (3) 学長候補適任者推薦受付について

入学試験実施委員会（9月17日）

（審議事項）

- (1) 平成14年度富山大学学生募集要項（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜，私費外国人留学生選抜）（案）について
 (2) 入試情報開示について
 (3) 入学者選抜試験合否判定過誤に伴う対応策について
 ①電子計算機処理に伴う指示書について

入学試験実施委員会（持ち回り）（9月18日）

（協議事項）

- (1) 平成14年度富山大学学生募集要項（一般選抜）に係る記載事項の追加について
 (2) 平成14年度富山大学学生募集要項（専門高校・総合学科卒業生選抜）に係る記載事項の追加について
 (3) 平成14年度富山大学学生募集要項（一般選抜）に係る経済学部後期日程の個別学力検査教科・科目の記載について

部局長会議（9月21日）

（審議事項）

- (1) 学生の除籍について
 (2) 平成13年度に着手する大学評価への対応について
 (3) 新設委員会の今後の進め方について
 （組織運営体制の整備・目標等策定・教育評価の確立）
 (4) その他
 ①全学募金について

評議会（9月21日）

（審議事項）

- (1) 中華人民共和国河南師範大学との大学間学術交流協定について

学長候補者選挙管理委員会（9月21日）

（議 題）

- (1) 学長候補適任者推薦書の確認について
 (2) 予備選挙候補者の公示について
 (3) 予備選挙不在者投票の取り扱いについて
 (4) 報道機関への対応について
 (5) 今後の日程等について

国立大学再編・統合検討委員会（9月21日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

学

事

富山大学運営諮問会議を開催

本年度の第1回富山大学運営諮問会議が9月20日（木）に開催され、中沖富山県知事ら委員7人が出席されました。

運営諮問会議は国立学校設置法の改正に伴い、昨年度から各国立大学に設置され、各界の有識者から大学運営について助言や提言を求めるためのものであり、本学では当初、本年度1回目の会議を7月中旬に開催する予定でしたが、入学者選抜試験合否判定の過誤とその後の対応の誤りに係る対応等のため、開催を延期していたものです。

会議の冒頭で小澤学長が、「再編・統合は、人文学部の入学者選抜試験合否判定の過誤とその後の対応の誤りで大きな痛手を負った本学が自力で更生する大きなチャンスであり、委員の方々から忌憚のない意見を頂き、構想案作りに生かしたい。」と挨拶されました。

その後、本学からの入学者選抜試験合否判定の過誤、富山大学の中期目標・中期計画及び富山大学平成13年度計画についての報告等に引き続き、各委員から富山県内3大学の再編・統合問題や国立大学の独立行政法人化等について、活発な意見交換が行われました。

なお、出席された委員は次の方々です。（50音順）

石坂 誠一（前富山国際大学長）
井上 孝美（放送大学学園理事長）
上野 隆三（北日本新聞社会長）
塩井外喜子（富山県婦人会会長）
中沖 豊（富山県知事）
福岡 隆（富山県教育長）
山田 圭蔵（北陸経済連合会会長）



＜各委員の意見＞

- ・新たな経営手法を取り入れるには、今までの大学で良いのか、という観点からの遠山プランでは、研究に重点を置いた評価システムしか考えられていない。教育、研究という両面があり、方向を見誤らないように。
- ・15年度概算要求となるとあまりにも期間がない。今後の予定をどのように進めるのか。
- ・各大学の温度差があるように思う。濃厚なスケジュールだが拙速にならないように。
- ・教育と研究のバランスをどのように考えるか。（教育のトップ30はあるのか。）
- ・短大と4年制の再編・統合をどのようにするか。
- ・特色とは、今までのものを継承しつつ更なる特色ということか。それとも全く新しいものを考えることか。
- ・高校生は進学したい大学にして欲しいと希望している。
- ・富大はリーダーシップをとらなければならないのに、何をやっているのか。
- ・富大の中は色々あるようだが、大丈夫か。
- ・医薬大、高短それぞれ設立の経緯、歴史、努力があった。それぞれの大学を大事に考えている人がいる。拙速にならないように。
- ・再編・統合は少子化という面からもやむを得ない。中途半端な大学では学生は集まらない。
- ・短大部があってもよいのでは。単なる合併にならないように。
- ・何をやりたい学生がこの大学を選ぶのか。（大学の特色）
- ・現在の入学は難しく、卒業は楽という大学を再編・統合によって変えるべき。
- ・高等教育全体のグランドデザインがない。しっかりした国の方針が必要。方向を誤れば、生徒が被害を被る。拙速はだめ。このことは、国大協として文科省へ対し要望すべき。（国の施策に対して）
- ・富大は今まで地域に貢献している。一丸となって、本県の核として発展することを期待する。

具体的な要望として、

- ①高い理念を持って欲しい。(地域の発展, 世界に貢献etc)
- ②構想は十分に練って欲しい。
(時間的な余裕がない中で, 素案が外部へ出ると取り消せない。)
- ③検討組織を明確に。
(誰が入っているのか不明)

④連絡を密に。

(関係方面と意志疎通を図られたい。)

- ・地方と中央とでは, 温度差がある。地元のアピールがないと中央に集中してしまう。地域の力を伸ばすには教育から人間を作ることが必要。
- ・教育・研究において, 地域を代表する大学になるよう期待する。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	13. 9. 11	巴 殿君		講師 (研究機関研究員) (極東地域研究センター) (~14. 3. 31)
	13. 9. 25	馬 鉄軍		" " " (水素同位体科学研究センター) "
昇 任	13. 9. 1	東 高明	東北大学附属図書館総務課長	附属図書館事務部長
転 任	13. 9. 1	笹川 郁夫	附属図書館事務部長	東京工業大学附属図書館事務部長
	"	種田ヨシエ	富山工業高等専門学校庶務課図書係長	附属図書館情報サービス課情報サービス係長
退 職	13. 9. 22	岡根 江見	助 手 経済学部	平成13年9月21日限り任期満了により退職
育児休業	13. 9. 22	城宝佐智子	助 手 経済学部	職務復帰
併任解除	13. 9. 17	佐々木和男	副学長・評議員	併任解除

学 内 諸 報

2001年外国人学生のための進学説明会を開催

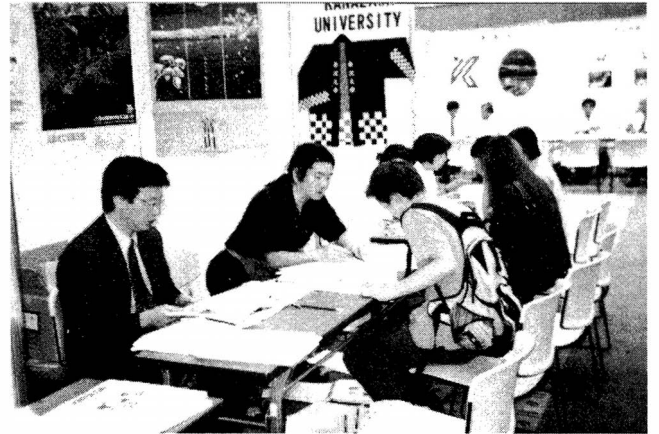
9月2日（日）マイドーム大阪（大阪）において、また、同月9日（日）池袋サンシャインシティ文化会館（東京）において、「2001年外国人学生のための進学説明会」が開催されました。

この説明会は、日本の大学等への進学を目指している外国人就学生等を対象に、進学希望に合った大学等を選択できるようにするため、各大学の情報を提供するものです。本学を含めて大阪会場では114の、東京会場では192の大学が参加し、来場した外国人学生は大阪で1,300名、東京で3,800名にも及びました。

各大学の割り当てられたブースでは、大学の特色を示すパンフレットやポスターなどが趣向を凝らして展示されていました。本学からは、各会場とも2名の留学生専門教育教官と1名の留学生課職員が対応し、大学の位置や学部の内容など、様々な外国人学生の質問に答えました。

また、自分の進学する大学を決めるため、いくつもの大学の資料を手手に、熱心に質問をする学生達で会場は終始熱気に包まれ、毎年開催されているこの説明会の参加者が年々増加しているのを見ても、日本の大学への進学に人気が高まっている様子が実感できました。

なお、この説明会により、多くの外国人学生が本学を受験することが期待されています。



△ 大阪会場



△ 東京会場

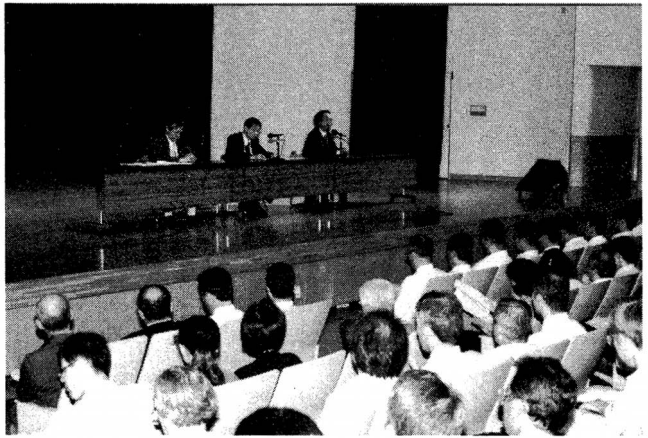


△ 東京会場

富山大学入学者選抜試験の合否判定過誤及びその後の対応の誤りに係る全学説明会を開催

富山大学入学者選抜試験の合否判定過誤及びその後の対応の誤りに係る全学説明会が9月3日（月）に開催され、教職員及び学生約300人が出席しました。

説明会では、小澤学長が本学評議会が作成した最終報告書を基に入試ミス発見や隠蔽の経緯を説明し、「富山大学は存亡の危機に瀕しており、改めるべきものは改め、全学の一致団結が必要である。」と述べられ、活発な質疑応答が行われました。



夢大学 in TOYAMA 2001を開催

本学の大学開放事業の「夢大学 in TOYAMA 2001」が9月8日（土）に開催されました。

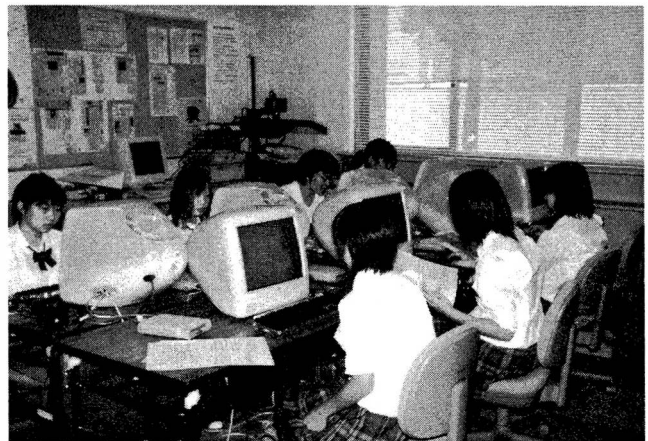
この「夢大学 in TOYAMA」は、地域社会に開かれた大学として、富山大学の教育研究活動の現状を積極的に公開し、特に将来を担う青少年に対して、理工系のみならず人文・社会系を含む科学全般についての興味・関心を喚起し、また、地域産業界に対して、より一層の連携・協力推進を図ることを目的として平成4年から毎年開催されているもので、本年度10回目を数えています。

総合開会式では、テープカットに引き続き、龍山工学部長の挨拶及び来賓祝辞があり、その後富山県立富山商業高等学校吹奏楽部によるドリル演奏が行われました。

今回の「夢大学 in TOYAMA 2001」のイベントとして実験等展示及び体験入学が企画され、実験等展示では、課外活動の将棋部からの出展を含めた39テーマがパネル展示及び小実験方式により実施されました。特に、「お絵かきおもちゃを作ろう」や「ガラス細工にチャレンジ」のコーナーでは、自分独自のキーホルダーやガラス細工

を作るために、大勢の親子連れ及び小・中学生らがチャレンジしていました。

また、体験入学には、中学生以上を対象にした「いろいろな国々の言葉を聞いて話してみよう」等24講座が開講され、計320名の参加者が教授・助教授等の指導のもと、熱心に受講していました。



△ 体験入学授業風景

<イベント一覧>

1. 実験等展示

タイトル	学部等	担当者
小さな、(小さな) ² 移動機械を目指して	工 学 部	小泉 邦雄
音響特殊効果で遊ぼう	工 学 部	広林 茂樹
あっ!アルミニウム板が浮いた	工 学 部	作井 正昭
多面体と遊ぼう	理 学 部	東川 和夫
キミの動きに合わせてゴジラが踊る	工 学 部	米田 政明
レスキューロボットを操作してみよう!	工 学 部	大住 剛
ガラス細工にチャレンジ	工 学 部	藤岡 和典
お絵かきおもちゃを作ろう	工 学 部	池野 進
内乱と下克上の日本中世—コンピュータで調べる歴史学—	人文学部	富田 正広
学校建築からみる世界の教育	教育学部	堀井 啓幸
もう一つの尖閣諸島問題—領土問題の陰の自然破壊—	教育学部	横畑 泰志
お店の歴史	経済学部	河野 三郎
不動産の証券化・流動化	経済学部	石田 眞得
タイリングを楽しむ	理 学 部	岡部 俊夫
“いきもの”の化学物質による会話—味・匂・色・光—	理 学 部	山口 晴司
細胞の中でエネルギーはどうやって運ばれる?	理 学 部	野口 宗憲
宇宙で植物を育てる	理 学 部	神阪盛一郎
バイオ+エレクトロニクス=バイオセンサ?	工 学 部	鈴木 正康
魚のことはDNAに聞け!	理 学 部	山崎 裕治
高感度環境汚染物質センサー:ヒドラ	工 学 部	塚田 章
楽しい情報の世界	工 学 部	河崎善司郎
おもしろい光と色と視覚の世界	工 学 部	中嶋 芳雄
人間に限りなく近いコンピュータの実現	工 学 部	唐 政
熱から電気や動力を取り出してみよう	工 学 部	竹越 栄俊
クルマってどうなっているの?—やさしいクルマ入門教室—	工 学 部	伊藤 紀男
アメーバが植物になった!?	工 学 部	安川 洋生
酸化チタン光触媒の活性向上	工 学 部	熊沢 英博
データベースで見る小泉八雲の足跡	附属図書館	滋野 康雄
強低温ワールドへの招待—カンタム/量子に触れてみよう—	低温液化室	石川 義和
コンピュータ回顧録—コンピュータを作ってきた人々—	情報処理センター	高井 正三
いろいろな国へ行ってみよう。	留学生センター	加藤扶久美
本当に豊かな人生をつくる	生涯学習センター	大石 昂
燃料電池と触媒	理 学 部	安田 祐介
熱サイホン発電	理 学 部	對馬 勝年
紫外線パワーで水環境を守る	理 学 部	田口 茂
太陽光で水をきれいにできるか	工 学 部	長谷川 淳
酸・水素型燃料電池	工 学 部	蓮覚寺聖一
将棋部	クラブ活動	
君も名裁判官!	経済学部	角森 正雄

2. 体験入学講座

講 座 名	参加 人員	学 部 名	指導主任教官名
-------	----------	-------	---------

中学生・高校生対象講座			
いろいろな国々の言葉を聞いて話してみよう	28	人文学部	助教授 末岡 宏
パソコンでシェイクスピアを学ぼう、映画と音楽でアメリカ文化を学ぼう	38	人文学部	教授 草薙 太郎
インターネットで英語を学ぼう	13	教育学部	教授 新里 眞男
やさしい経済学	25	経済学部	助教授 坂口 正志
税金のしくみを楽しく学ぼう	9	経済学部	講師 坂本 雅士
数学ワンダーランド	15	理学部	教授 小林久壽雄
レーザーを使って光をいじってみよう	8	理学部	教授 松島 房和
天然物から有効成分を取り出そうーお茶の葉からカフェインの単離ー	10	理学部	教授 平井 美朗
花粉ってどんな形	5	理学部	講師 増田恭次郎
葉の表面にある気孔を顕微鏡で観察し、その役割を考える	8	理学部	教授 井上 弘
鉱石ラジオの製作と受信機のお話	6	工学部	教授 坂上 岩太
3Dコンピュータ・アニメーションの製作	20	工学部	教授 袋谷 賢吉
電卓ソフトを自分で作ろう	5	工学部	助教授 早川英治郎
環境を守る蓄電池／ニッケル水素二次電池の製作	9	水素同位体科学研究センター	助教授 波多野雄治
極東地域探検隊	6	極東地域研究センター	助教授 今村 弘子

高校生対象講座			
近未来の月世界でベンチャービジネスにチャレンジ！ ～ビジネスゲームで経営学を学ぼう～	18	経済学部	助教授 森口 毅彦
商法100年の歴史と展望	8	経済学部	教授 志津田一彦

中学生・高校生・社会人対象講座			
開発教育入門ワークショップー子どもの権利について考えてみようー	13	教育学部	助教授 萩原 孝章
自転車による人力発電	18	教育学部	教授 山地 啓司
南極の自然	23	教育学部	教授 宇井 啓高
君も名裁判官！	14	経済学部	教授 角森 正雄
古地磁気・地磁気の化石の実験	6	理学部	教授 広岡 公夫
ロンドン橋落ちた！ー模型好き集まれ！ー	9	工学部	教授 塩澤 和章
新鮮！挑戦！電子線！ーいろんなものを電子顕微鏡で見ようー	6	工学部	教授 池野 進

附属中学校コーラス部がNHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロック大会に出場

9月9日（日）に愛知県稲沢市で開催された第68回NHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロック大会に本学教育学部附属中学校コーラス部が本県の代表として出場しました。

このNHK全国学校音楽コンクールは、全国で1,000校以上の学校が参加し、その模様はテレビ放映されるものです。

附属中学校コーラス部は過去平成8年度と10年度にも全国コンクールに出場した実績があり、今回も8月9日に行われた富山県予選を経て出場権を獲得したものです。

コンクールは直前リハーサルがなく、客席から直接ステージに上がる形式を採っていたため、他の出場校の演奏を全て聴くことができ、プログラムで3番目の登場となった附属中学校コーラス部は、前の2校の演奏を聴いて緊張感を高めていました。

部員達は聴衆に感動を与え、かつ自分たちもその感動を共有できる演奏を目標として、表情豊かに歌うことを意識して練習を重ね、課題曲の「変」では恋をした自分に驚き、そして喜ぶ思春期の自分の気持ちを表現し、また、自由曲の「夏」では今では遠い昔の話になってしまった戦争や原爆に対してやり場のない怒りや悲しみを表現しました。

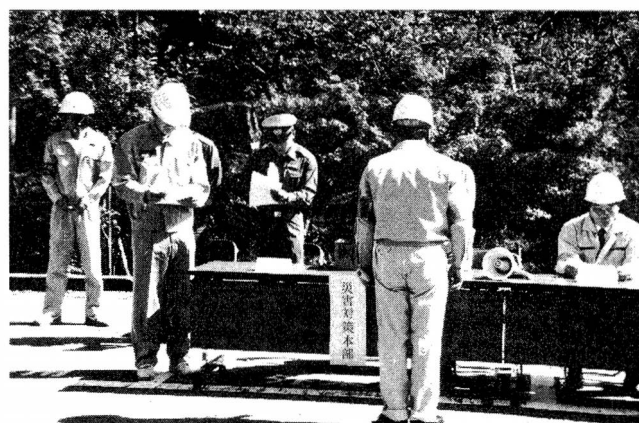
今回の東海北陸ブロックコンクールでは他の出場校も素晴らしい演奏を行ったため、附属中学校コーラス部は銅賞を受賞するところとなり、全国大会出場を果たすことはできませんでした。しかし、東海北陸地区のレベルの高さを改めて実感するとともに、演奏後の各部員の顔には精一杯やり遂げた満足感と安堵感があふれ、更なる向上心を胸にして帰校しました。

平成13年度富山大学総合防災訓練を実施

9月26日(水)に平成13年度富山大学総合防災訓練が実施されました。

当日は、早朝6時30分に震度6（強）の地震が発生したとの想定で、緊急時の連絡網による全学の通報連絡訓練を実施し、連絡体制の確認を行うことから始まり、午前中は黒田講堂ホールにおいて富山消防署署員5人と本学職員の応急手当普及員5名を講師に招き、災害時の搬送・応急措置・救護訓練の講習が実施され、参加者は緊急時の対応方法を真剣に学んでいました。

また、午後には富山消防署署員が見守る中、事務局において震度6（強）の地震を想定した地震時の対応訓練が行われ、通報連絡や避難誘導などの任務を割り振られた各職員はその職務をスピーディーにこなし、無事避難訓練を終了しました。



△ 災害対策本部長に避難完了を報告する人事課長

富山県大学長懇話会を開催

9月26日（水）、本学において第14回富山県大学長懇話会が開催されました。

この懇話会は年2回開催されているもので、今回本学が当番校となったものです。

会議には富山県内の国公私立8大学（富山県立大学、富山国際大学、富山医科薬科大学、高岡法科大学、高岡短期大学、富山短期大学、富山福祉短期大学、富山大学）の学長等が出席し、①富山県内の高等教育機関の連携・協力②アドミッション・ポリシー③留学生宿舍建設の公的支援の3点を中心に、活発な意見交換が行われました。



教養教育教員研修会を開催

9月27日（木）・28日（金）に大山町の大山研修センターに於いて第4回富山大学教養教育教員研修会が開催され、49人の教員が参加しました。

この研修会は、本学教養教育実施機構が主催して平成10年度からファカルティ・デベロップメント（FD）研修の一環として毎年開催されているもので、今回は「高校教育から大学教育」をテーマとし、大学教育の入り口でもある教養教育の在り方を考えるものです。

研修会では、名古屋大学高等教育研究センターの中井俊樹講師を招いて講演会「大学における初年教育」が行われ、その後、「大学教育へのスムーズな導入のためのオリエンテーションとゼミ」、「高校カリキュラムの現状と教養教育」及び「学生による授業評価」の3分科会に分かれ、活発な討議が行われました。



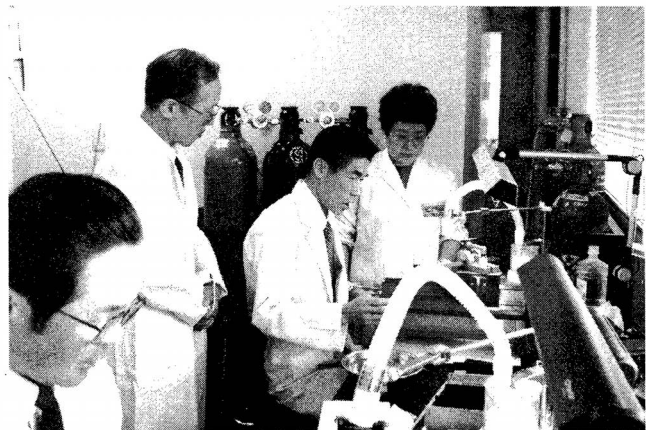
富山地区国立学校技術職員研修を開催

9月27日（木）に第10回（平成13年度）富山地区国立学校技術職員研修が本学と富山医科薬科大学の共催で開催されました。

この研修は、富山県内国立学校の教室系技術職員に対し、必要な知識及び技術を習得させるとともに、相互啓発の機会を与えることにより、資質等の向上を図ることを目的として行われているものです。

今回は、本学では「プログラマブルICを用いたロジック回路の設計」及び「Microsoft PowerPointを使用したプレゼンテーション」の2コースが、富山医科薬科大学では「組織学標本の作製」の1コースが実施され、県内の5校からの各コースそれぞれ8名計24名の参加者は、熱心に技術等の修得に取り組んでいました。

また、研修終了後意見交換会が行われ、技術職員の資質向上方法等について活発な質疑応答が行われました。



◎ 海 外 渡 航 者 ◎

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	工学部	助教授	平 澤 良 男	韓 国	7th ISTESCにおいて研究発表、 討論	13. 7.11 } 13. 7.14
	工学部	助教授	松 田 健 二	アメリ合衆国 カ ナ ダ	カナダ金属学会第40回冶金学国際 会議に出席	13. 8.20 } 13. 8.31
	人文学部	教 授	藤 本 幸 夫	連合王国, フランス スイス, ドイツ	「東アジア出版文化の研究」に関 する資料収集	13. 9. 1 } 13. 9.25
	教育学部	教 授	大 森 克 史	連合王国, スイス フ ラ ンス	研究資料収集及び研究打合せ	13. 9. 1 } 13. 9.15
	教育学部	教 授	長谷川総一郎	イ タ リ ア オ ー ス ト リ ア	第7回ガーデナ彫刻フェスタに出 席, 資料収集	13. 9. 7 } 13. 9.14
	水素同位体科学 研究センター	講 師	鳥 養 祐 二	連 合 王 国	核融合炉材料のトリチウム汚染及 び除染の回収に関する研究調査	13. 9. 8 } 13.10. 8
	工学部	助教授	長 谷 博 行	アメリ合衆国	ICDA2001に出席, 研究発表	13. 9. 9 } 13. 9.16
	人文学部	助教授	福 島 直 子	アメリ合衆国	アメリカ医学関係史料収集	13. 9.10 } 13. 9.18
	教育学部	教 授	田 中 晋	韓 国	淡水域生物多様性調査及び研究打 合せ	13. 9.14 } 13. 9.18
	人文学部	教 授	前 川 要	ロ シ ア	中世考古資料調査	13. 9.20 } 13.10. 1

	教育学部	教授	佐藤幸男	オーストラリア	ココス島における資料収集、聞き取り調査	13. 9.22 } 13. 9.29
	工学部	教授	椿 範立	オーストラリア	第6回世界化学工学大会に出席、研究発表	13. 9.22 } 13. 9.27
	極東地域研究センター	教授	酒井富夫	中 国	学術ネットワーク形成のための基礎調査	13. 9.24 } 13. 9.29
	人文学部	教授	小谷仲男	アメリカ合衆国	クシャン王朝考古美術資料収集	13. 9.26 } 13.10. 8
	極東地域研究センター	教授	川田邦夫	ロ シ ア	環日本海地域学術情報ネットワーク化等に関する調査研究	13. 9.26 } 13. 9.29
	極東地域研究センター	教授	森岡 裕	ロ シ ア	環日本海地域学術情報ネットワーク化等に関する調査研究	13. 9.26 } 13. 9.29
	極東地域研究センター	助教授	堀江典生	ロ シ ア	環日本海地域学術情報ネットワーク化等に関する調査研究	13. 9.26 } 13. 9.29
海外研修	工学部	教授	坂井純一	ド イ ツ	ISSS-6第6回宇宙プラズマシミュレーション国際研究集会に出席、研究発表	13. 9. 1 } 13. 9. 9
	理学部	教授	小松美英子	オーストラリア	胃内保育性ヒトデに関する研究	13. 9. 3 } 13. 9.25
	教育学部	教授	渡邊 信	チ ェ コ	研究打合せ	13. 9. 6 } 13. 9.29
	教育学部	教授	布村忠弘	イ タ リ ア ク ロ ア チ ア	全日本ユースバレーボールチームイタリア遠征における健康管理とコンディショニングに関する研究	13. 9. 9 } 13.10. 2
	工学部	助教授	江上繁樹	ド イ ツ	ゼータ関数に関する共同研究のため	13. 9.14 } 13. 9.27
	人文学部	講師	小林 功	ト ル コ	トルコ西部（エーゲ海沿岸部）の都市遺跡の調査	13. 9.14 } 13. 9.27
	経済学部	助教授	古川 勝	タ イ	企業の情報化及び起業（ベンチャー）に関する調査、資料収集	13. 9.14 } 13. 9.22
	人文学部	助教授	緒方真子	中 国	近代京劇・地方劇関係資料の調査・研究	13. 9.21 } 13. 9.26
	教育学部	教授	西川友之	ス イ ス	2002年ワールドリーグ運営会議出席とオリンピック関係資料収集	13. 9.23 } 13. 9.28
	人文学部	助教授	村井文夫	フ ラ ン ス	メーストルのスイス滞在に関する文献調査	13. 9.23 } 13.10. 9

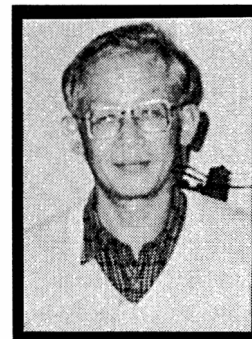
計 報

◎ 鈴木正昭理学部教授がご逝去されました。

鈴木正昭理学部教授には、平成13年9月29日午後0時30分にご逝去されましたことをお知らせします。享年59歳。

鈴木教授は昭和39年に金沢大学理学部数学科を卒業後、同41年に同大学大学院理学研究科を修了され、同43年九州大学理学部助手、同45年富山大学文理学部講師及び同52年同理学部講師を経て同58年から同教授に就任されておりました。専門は数学。

ここにご生前のご功績とお人柄を偲び、心から哀悼の意を表します。



主 要 行 事

本 部

- 9月2日 2001年外国人学生のための進学説明会（於：マイドーム大阪（大阪））
- 3日 事務局連絡会
全学説明会
- 4日 学生生活委員会
国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会
簿記講習会
- 5日 部局長会議
- 7日 秋の国立学校等経理部課長会議（於：東京医科歯科大学）
評議会（臨時）
簿記講習会
- 8日 夢大学 in TOYAMA 2001
- 9日 2001年外国人学生のための進学説明会（於：池袋サンシャインシティ文化会館（東京））
- 10日 学長候補者選挙管理委員会
事務局連絡会
- 11日 運営会議
評議会（臨時）
国立大学再編・統合検討委員会
学長候補者選挙管理委員会
簿記講習会

- 12日 北陸地区国立大学長懇談会（於：金沢大学）
- 14日 簿記講習会
- 17日 事務局連絡会
入学試験実施委員会
- 18日 事務協議会
運営会議
簿記講習会
入学試験実施委員会（持ち回り）
- 19日 留学生日本語研修コース修了式
特別講演会
- 20日 東海北陸地区管理事務協議会（於：岡崎国立共同研究機構）
富山大学運営諮問会議
- 21日 東海北陸地区国立学校等総務部課長会議（於：岡崎国立共同研究機構）
部局長会議
評議会
学長候補者選挙管理委員会
国立大学再編・統合検討委員会
簿記講習会
- 25日 簿記講習会
- 26日 平成13年度富山大学総合防災訓練
富山県大学長懇話会
- 27～28日 教養教育教員研修会（於：大山研修センター）
- 27日 富山地区国立学校技術職員研修
職員教養研修（放送大学第1学期）修了式
- 28日 学位記授与式
簿記講習会

人 文 学 部

- 9月3日 学部将来計画委員会
- 4日 特別昇給委員会
- 5日 教授会（人事）
教授会
学部国際交流委員会
- 6日 学部教務委員会
学部将来計画委員会
- 10日 学部入学試験委員会
- 12日 教授会
- 14日 学部将来計画委員会
- 18日 学部将来計画委員会
- 19日 学部入学試験委員会
- 20日 学部将来計画委員会
- 25日 学部将来計画委員会
- 26日 人文科学研究科委員会

教授会

教 育 学 部

- 9月1日 附属小学校, 附属中学校, 附属養護学校及び附属幼稚園第2学期始業式
- 4日 教育実習運営協議会
- 5日 学部国際交流委員会
学部学生生活委員会
教授会
学部配分比率評価委員会
- 6日 学部教務委員会
学部入学試験委員会
- 7日 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会
- 10日 給与及び在外研究員等検討委員会
- 12日 学部図書委員会
教授会
人事教授会
- 14日 学部入学試験委員会
- 17日 学部将来計画委員会
- 19日 教授会
特別講演会「国立の教員養成大学・学部の当面する諸課題について」(黒田講堂会議室)
- 20日 附属学校運営委員会
- 25日 学部国際交流委員会
- 27日 北陸地区教員養成学部事務長協議会 (於: 上越教育大学)
- 30日 附属幼稚園運動会

経 済 学 部

- 9月3日 将来構想等検討委員会
- 5日 教授会(臨時)
学部国際交流委員会
- 6日 学部入学試験委員会
- 10日 学部総務委員会
- 11日 学部教務委員会
- 12日 研究科委員会小委員会
人事教授会
研究科委員会
教授会
- 18日 将来構想等検討委員会
- 19日 生涯学習・広報委員会
- 20日 研究科委員会小委員会(持ち回り)
- 25日 学部教務委員会
- 26日 平成14年度大学院経済学研究科(修士課程)入学試験
- 27日 将来構想等検討委員会

理 学 部

- 9月3日 学部入試委員会
- 5日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
教授会
人事教授会
大学院理工学研究科博士後期課程部会
- 6日 大学院理工学研究科博士前期課程合格発表
- 10日 学科長会議
- 12日 出前講義（富山県立富山東高等学校）
理学部懇談会
- 18日 学部学生生活委員会
- 19日 大学院理工学研究科博士後期課程部会
理学部将来計画策定ワーキンググループ会議
- 25日 出前講義（富山県立滑川高等学校）
学科長会議
学部入試委員会

工 学 部

- 9月3日 外国人留学生委員会
学部自己点検評価委員会
- 4日 教務委員会
- 5日 教授会
専任教授会
理工学研究科博士前期課程工学部会
工学研究科博士後期課程委員会
理工学研究科博士後期課程部会
学部運営委員会
- 6日 大学院理工学研究科合格発表
- 10日 教授会
- 11日 工場運営委員会
- 12日 学部運営委員会
学部将来計画委員会
- 14日 学部入学試験検討委員会
- 17日 学部将来計画委員会
- 19日 理工学研究科博士後期課程部会
- 25日 学部運営委員会
学部将来計画委員会
- 26日 学部自己点検評価委員会

地域共同研究センター

- 9月11日 運営委員会（持ち回り）



△ 夢大学 in TOYAMA 2001 における実験等展示風景

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033
印刷所 あけぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899